

人と森をつなぐ情報誌

2025 No.222

林野

RINYA



特集

レクリエーションの森へ出かけよう!!



Connecting people and forests



令和7年 緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰

受賞者 紹介

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰とは、緑化推進運動の実施について、顕著な功績のあった個人又は団体に対し、内閣総理大臣が表彰を行うものです。

令和7年は13の個人・団体が受賞されました。本誌では毎号、受賞者の方々をご紹介します。

水源の森づくりをすすめる市民の会(宮崎県宮崎市)

同団体は、宮崎県を流れる大淀川・清武川流域に豊かな水源の森づくりを進めることを目的に平成8年に設立され、広葉樹の植樹や育樹活動等に取り組んできました。地域の国有林等をフィールドとした「わくわくの森」を活動拠点とし、会員が種から育てた苗木の植樹や下草刈り等を継続して行っています。

また、森の中で音楽を鑑賞する「森のコンサート」を開催し、参加者同士の交流の場の創出や、日本最大級の照葉樹林の保護プロジェクトへの参加、地域の子どもの対象とした環境教育の実施などにより地域内外の緑化意識の醸成にも貢献しています。

※Facebook: https://www.facebook.com/suigennomori.miyazaki?locale=ja_JP

Instagram: <https://www.instagram.com/suigennomori.miyazaki/>



Facebook



Instagram



育樹活動に参加した皆さん



植樹活動



森のコンサート

過去の受賞者については林野庁ウェブサイトをご覧ください。

https://www.rinya.maff.go.jp/j/sanson_ryokka/hyosyo/index.html



人と森をつなぐ情報誌



2025
No.222

表紙の写真: 黒部湖を遠くから望む

ウェブアンケートにご協力をお願いします!

<https://www.contactus.maff.go.jp/rinya/form/kouhou/202509.html>



Contents

- 3 **特集** レクリエーションの森へ出かけよう!!
- 7 **TOPICS 01** 森林の仕事パーク
- 8 **TOPICS 02** 10月15日は「きのこの日」です
- 10 **TOPICS 03** 木材輸入の動向について
- 12 **大阪・関西万博** 「Wood Change 2025」を開催
- 14 **フォレスター活動書記** 子どもたちの憧れに—フォレスターの恩送り
- 16 **国有林野事業の取組** 奥能登地区における民有林直轄治山事業の取組
- 18 **TOPICS 04** 令和7年度こども霞が関見学デーを開催しました!
- 19 **みどりの大使が行く!** チェーンソーの扱いを学ぶ



特集 レクリエーションの森 へ出かけよう!!

日本の国土の多くは、豊かな森林につつまれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、優れた自然景観を持ち、森林浴や自然観察など自然とのふれあいに適した国有林を「レクリエーションの森」に設定しています。

その中から特にお薦めする7箇所のうち、3箇所をご紹介します。(そのほかの4箇所については、4月号を参照ください。)

※記事で紹介した施設やイベントの営業・開催状況については、事前に主催者のウェブサイト等でご確認ください。

ウェブサイトでは「^{にっぽん}日本美しの森 お薦め国有林」の見どころや魅力あふれる映像をご紹介します!

レクリエーションの森のうち、特に景観が優れた93箇所を『日本美しの森 お薦め国有林』に選定しており、こちらからご覧になれます。

▶レクリエーションの森：林野庁



ドローンによる空撮映像はこちらをご覧ください。

▶ドローン空撮映像：林野庁



写真

左上：中部局／黒部ダムから見た紅葉 右上：四国局／四万十川の源流点
下：九州局／仲間川展望台からの眺望



御前沢風致探勝林

富山県立山町

エメラルドグリーンの湖面と 色鮮やかな紅葉を楽しめる遊歩道

概要

御前沢風致探勝林は、富山県の東部にある黒部峡谷の上流、標高1,500m付近にあり、黒部ダムの建設によって生まれた黒部湖の両岸に設定されています。

中部山岳国立公園内にあり、黒部湖の両岸にそそり立つ立山連峰と後立山連峰の雄大な姿が望めるほか、堤高186m、堤長492mの力強いアーチを描く巨大な黒部ダムとエメラルドグリーンの湖水、急峻な岩山や森林が一体となった素晴らしい眺望を堪能できます。

黒部ダムは、富山県と長野県を結ぶ山岳観光ルートである立山黒部アルペンルート上の観光拠点の一つでもあり、令和6年には約82万人の観光客がこのルートを訪れています。

楽しみ方

御前沢風致探勝林には、ブナ、ネズコ、コメツガ、ヒメコマツなど多様な樹種からなる森林内を散策できる遊歩道が整備されています。黒部ダムの堰堤からケーブルカーの駅につながるトンネルを抜け、湖沿いの道を歩いた先では、カンバ谷と呼ばれる谷に架かる吊り橋からの眺めを楽しめます。吊り橋を渡った先にはブナやクロベの原生林が広がっており、巨木の迫力を体験できます。春には新緑が楽しめるほか、秋には山頂の雪の白、中腹の紅葉の赤、麓の葉の緑が並ぶ「三段紅葉」の色彩も魅力的です。遊歩道は高低差が小さいため、高齢の方や小さなお子様連れでも無理なく森林浴を楽しむことができます。

日本一のドーム型アーチ式ダムである黒部ダムは、堰堤の高さが日本一であることに加え、約2億t（東京ドーム161杯分）の水を貯水（総貯水容量）することができ、6月26日から10月15日の間は観光放水が行われています。毎秒10t以上の水が霧状となり放水される様子は壮観で、晴れた日には放水に美しい虹がかかる光景も楽しめるかもしれません。堰堤の脇にあるレストハウスでは「ダムカレー」を味わうこともできます。



湖畔の紅葉



アクセス

富山駅から

富山地方鉄道または車で立山駅へ、約1時間
ケーブルカー・バス等を利用し、約2時間～2時間半

長野駅から

特急バスで扇沢駅へ、約1時間45分（車では約1時間20分）
電気バスで16分

参考URL

黒部ダム公式サイト

<https://www.kurobe-dam.com/>



立山黒部アルペンルート

<https://www.alpen-route.com/index.php>



不入山風景林、四万十 源流の森風致探勝林

高知県津野町

四万十川の源流を有する 登りごたえのある山

概要

いらすやま
不入山風景林は、高知県中西部に位置する標高1,336mの不入山を中心とした約242haの森林です。年間降水量が3,000mmを超える四国でも有数の多雨地域にあり、ヒノキ、ツガ、コウヤマキなどの針葉樹とブナ、アラカシ、ミズメ、ケヤキなどの広葉樹からなる針広混交林が広がっています。「不入」という山の名は、かつて土佐藩が樹木の伐採や立ち入りを禁じていた「御留山」であったことが由来と言われています。

不入山の東斜面には、「日本最後の清流」といわれる四万十川の源流点を囲む四万十源流の森風致探勝林があります。196kmの幹川流路延長をもつ四国最長の河川である四万十川の源では、樹齢200年生を越える樹木が生い茂る中、岩々から染み出すように水滴があふれ出ています。

楽しみ方

不入山には初心者から上級者まで楽しめる複数のハイキングコースがあり、登山口から1、2時間程度で山頂まで登れます。春には、美しく山を彩るアケボノツツジやヒカゲツツジ、シャクナゲなどが楽しめるほか、秋には、紅葉も楽しむことができ、四季を通じて風光明媚な景色を満喫できます。また、コースの一部には急勾配の岩場やロープを伝って登る場所もあり、登頂した時の達成感はひとしおです。頂上からは、鳥形山や四国カルスト、太平洋が広がる眺望を堪能できます。

また、不入山の東側にある登山口には「四万十川源流の碑」があり、苔むした岩の間を流れる水の音に耳を澄ませながら渓流沿いの遊歩道を25分ほど登れば、長い年月を経て森林が育んだ水が湧き



シャクナゲの花

出る源流点を目にすることができます。

なお、不入山周辺にはトイレがないため、最寄りの「道の駅」などのトイレをご利用ください。



四万十川源流の碑

アクセス

四万十川源流の碑まで

愛媛県松山市方面より

JR松山駅から 車で約2時間30分

高知県高知市方面より

高知自動車道 須崎西ICから車で約50分

参考URL

津野町観光サイト「津野ぶら」

<https://town.kochi-tsuno.lg.jp/tsunobura/>



高知県奥四万十エリアの魅力発信サイト

「奥四万十時間」

<https://okushimanto.jp/archives/20992>



四国森林管理局 四国の山々たんね歩記

「不入山」

https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/policy/business/invitation/attach/pdf/yamaaruki_irasutomap.kochichuseibu.no.3-9.pdf



四国の山々たんね歩記「不入山」

西表自然休養林

沖縄県竹富町

亜熱帯の濃厚な森が織りなす 自然の宝庫

概要

沖縄本島から約400km離れた位置にある西表島は、日本最大規模のマングローブ林をはじめとする亜熱帯の原生林を有しており、イリオモテヤマネコやカンムリワシなどの希少種が生息するなど、生物多様性を保全する上で重要な地域であるため、島全体の約7割が世界自然遺産に登録されています。

西表自然休養林は、西表島の東部の仲間川地区、中央部のヒナイ川地区、北西部の浦内川地区に位置しています。これらのエリアは、雄大な自然が見られることから、多くの観光客が訪れています。

楽しみ方

仲間川地区では、大富遊歩道の入口より約3.6kmの位置にある仲間川展望台から、日本最大級のマングローブ林や蛇行する仲間川の眺望などを楽しむことができます。

ヒナイ川地区では、日本の重要湿地500に選出されているヒナイ川をカヌーで渡るカヤッキングが人気で、1年を通して温暖な西表島では秋でもカヤッキングを楽しめます。カヌーでヒナイ川を進めば、県内最大落差55mのピナイサーラの滝を間近で感じることができます。

浦内川地区では、全長約18km（11本の支流を含めると約39km）を有する県内最長の浦内川で遊覧船等によるクルージングを満喫し、下船後は亜熱帯の原生林の中でトレッキングをするといった体験が楽しめます。上流部まで行くと日本の滝100選に選出されているマリウドゥの滝やカンピレーの滝など雄大で迫力がある大自然を見ることができます。

なお、ヒナイ川地区と浦内川地区は、竹富町長への立入承認申請が必要となる「特定自然観光資源」に指定されているため事前に申請を行っていただきますようお願いします。



観光客に人気のカヤッキング



ピナイサーラの滝



カンムリワシ

アクセス

空路等で石垣島に到着後、石垣港離島ターミナルから高速船で西表島仲間港へ（約50分）

西表島仲間港から路線バスまたは車で西表自然休養林へ（仲間川地区：約5～20分、ヒナイ川地区：約55分、浦内川地区：約60～80分）

参考URL

竹富町観光協会

<https://www.painusima.com/>



石垣島観光ポータルサイト

石垣島ねっと 西表島

<https://isigakizima.net/ritou/iriomote/>



竹富町自然観光課（立入承認申請）

<https://www.town.taketomi.lg.jp/topics/1724675844/>



★もり★ ★★★★の仕事パーク

森林とつながり、はたらき、あそぶ!

— 見て、ふれて、体験する森林・林業の世界で、木の香りと笑顔があふれる日 —

木の香りと笑顔に包まれながら、森林や林業の魅力をまるごと体験できるイベント「森林(もり)の仕事パーク」が開催されます。林業に触れるのが初めてでも、安心して参加できる、森林と出会う特別な一日。自然やアウトドアが好きな方、移住や森林の仕事に興味がある方、そして体を動かすことが好きな方にもぴったりの内容です。

来場者は、森林・林業の現場をリアルに体感できるアクティビティや、仕事の魅力を知る展示・相談コーナーを通して、森林と林業の奥深さに触れることができます。

都市の真ん中で森林を感じる「主催型イベント」

令和7年10月12日(日)・13日(月・祝)、有楽町駅前広場が「森林」に変身します。

会場では、森林で働くプロフェッショナルによるトークショー、ヒノキチップの詰め放題、安全装備品の展示、チェーンソー作業を体験できるVR、薪割り体験、子どもも楽しめる木工製品コーナー、さらに森の恵みを味わえるキッチンカーなど、多彩なコンテンツが盛りだくさんです。

大型イベントで森林を感じる「出展型イベント」

森林の仕事パークは、各地の大型イベントにも出展します。

第21回ふるさと回帰フェア(9/20～21 東京国際フォーラム)

アウトドアデイジャパン神戸2025(9/27～28 メリケンパーク)

JOIN 移住・交流&地域おこしフェア(11/22～23 東京ビッグサイト)

WOODコレクション(モクコレ) 2025(2/12～13 東京ビッグサイト)※予定

来場者は、各会場のブースで森林・林業の魅力を知り、体験や相談を通して新たな一歩を踏み出すきっかけを得られます。

オンラインで気軽に相談

令和7年11月、令和8年2月には、自宅から気軽に参加できる「森林(もり)の仕事オンラインガイドス」を開催予定です。

ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、都道府県別に担当者と直接話すことができます。イベントで林業に興味を持った方や「ちょっと林業のことを聞いてみたい」という方におすすめです。

森林で見つける、新しい自分

参加費はすべて無料です。森林の香りに包まれながら、五感で森林・林業の魅力を感じられる「森林の仕事パーク」。この秋、あなたも森林とつながる一歩を踏み出してみませんか。

イベントの開催情報等は
こちらからチェック!
緑の雇用RINGYOU.NET
<https://www.ringyou.net/>



ヒノキチップ詰め合わせ



森林や林業の魅力を体験できるイベント



10月15日は「きのこの日」です

きのこの日は、きのこの消費拡大と生産振興を目的に、きのこのに対する正しい知識の普及、啓蒙活動を積極的に推進して、消費者にきのこの健康食品としての有用性や調理、利用方法の浸透を図るため、日本特用林産振興会によって制定されました。

きのこは

きのこは、カビや酵母に近い仲間で、普段は倒木や落ち葉、土のなどで菌糸として生活しています。皆さんが普段食べているきのこは、菌糸の集合体で、子孫を残すために必要な胞子を作る器官(子実体)になります。

近年の栽培状況

きのこの栽培方法には、きのこの菌糸を培養し、これを種菌として原木に植え付け、きのこを発生させる原木栽培と、おが粉などを固めたものに種菌を植え付け栽培施設内できのこを発生させる菌床栽培の、主に



原木栽培



菌床栽培

2つの方法があります。菌床栽培は施設内で季節や自然条件に関わらずきのこ栽培ができることから、徐々に普及し、以前は原木栽培の乾いたけが主であったしいただけでも菌床栽培の生しいただけが一年中市場に

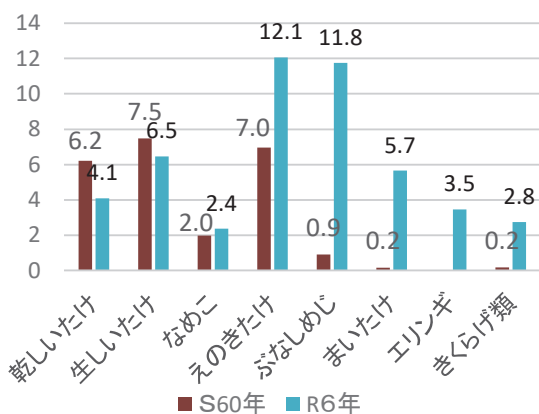
出回るようになりました。

きのこ類の全体の生産量は戦後年々増加し、昭和60年と令和6年度を比較すると約1.5倍になっていますが、近年は45万トン前後で推移しています。内訳をみると、

主に菌床栽培で生産されるぶなしめじ、えのきたけ、まいたけ、エリンギなどの生産量が横ばいで推移している一方、主に原木栽培で生産される乾しいたけの生産量は生

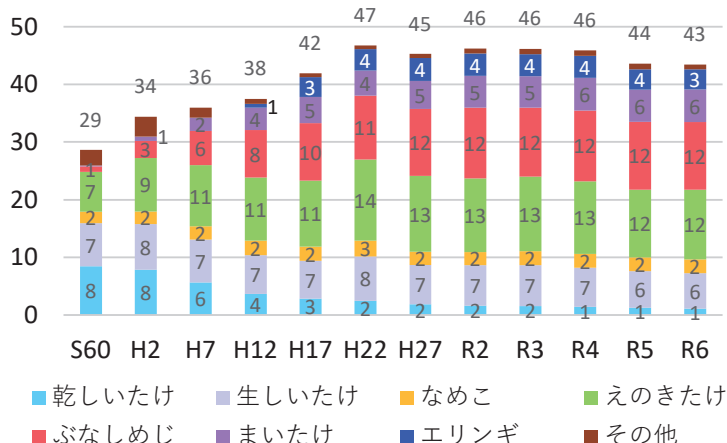


きのご類の消費量(万t)



林野庁「特用林産基礎資料」
乾しいたけ、きくらげ類は生重量換算値

きのご類の生産量(万t)



林野庁「特用林産基礎資料」
乾しいたけは生重量換算値

令和6年 都道府県別きのご生産量ランキング

	乾しいたけ	生しいたけ	なめこ	えのきたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ
1	大分県 554t	徳島県 7,025t	新潟県 5,545t	長野県 71,068t	長野県 47,429t	新潟県 35,597t	長野県 14,822t
2	宮崎県 266t	岩手県 4,088t	長野県 5,029t	新潟県 18,364t	新潟県 22,650t	静岡県 4,889t	新潟県 11,726t
3	熊本県 147t	群馬県 3,981t	山形県 4,081t	宮崎県 x	福岡県 15,255t	福岡県 3,690t	広島県 x
4	岩手県 94t	福島県 3,871t	福島県 1,697t	福岡県 5,413t	香川県 5,111t	三重県 2,925t	福岡県 1,799t
5	愛媛県 71t	秋田県 3,590t	北海道 1,260t	北海道 x	富山県 x	長野県 2,479t	香川県 x

林野庁「特用林産基礎資料」
[x]個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

きのごこと里山林利用

産者の高齢化等により減少傾向にあります。きのご類の消費動向は昭和60年と比べると大きく変化しており、現在の消費量トップ3は、えのきたけ、ぶなしめじ、生しいたけとなっています。

また、きのごの主産地は、乾しいたけは大分県、生しいたけは徳島県が、その他のきのごは新潟県、長野県などになっています。

きのご原木となる広葉樹のコナラ、クヌギ等は、きのご生産に適する伐採適齢期があります。利用されず適齢期を過ぎ大径木となると、きのご原木に不向きとなるだけでなく、切り株から次世代の芽が生える萌芽更新がされにくくなり、将来の里山林の利用にも支障をきたします。

また、近年、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌により、ナラ類、カシ類、シイ類が集団で枯損する「ナラ枯れ」が全国で発生しています。「ナラ枯れ」は高齢化した森林の大径木に多くみられることから、短い周期できのご原木を供給することにより森林を若返らせることは、この被害拡大を防止する意味で重要です。

加えて、比較的明るい里山林の環境を好むチョウ類などにとっては、里山林が放置され暗い環境の森林に変化することにより、その生息・生育環境が失われることとなります。このため、きのご原木利用などで里山林を明るい環境に維持していくこと

は、里山林特有の生物多様性の保全にも繋がります。



おわりに

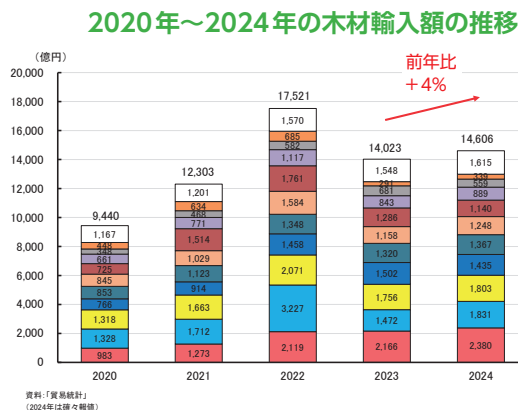
きのごは年間を通じて価格が安定しているうえ、優れた栄養価や機能性を持っており、国民の生活に欠かせない食材です。需要の少ない春から夏の季節ばかりでなく、鍋がおいしい秋から冬の需要拡大も重要です。きのごを食べることは、森林の循環利用や山村地域の振興にも寄与しますので、本稿を通じて、きのごを身近に感じていただき、より一層きのごを日々の料理に使っていただくと幸いです。

木材輸入の動向について

本稿では、2024年の木材輸入実績及び2025年上半期の木材輸入実績について紹介します。

① 2024年の木材輸入実績

2024年の木材輸入額（HS44類は、前年比4%増の1兆4,606億円でした。国別では第1位は中国、第2位はEU、第3位は中国、第4位は米国となっています。

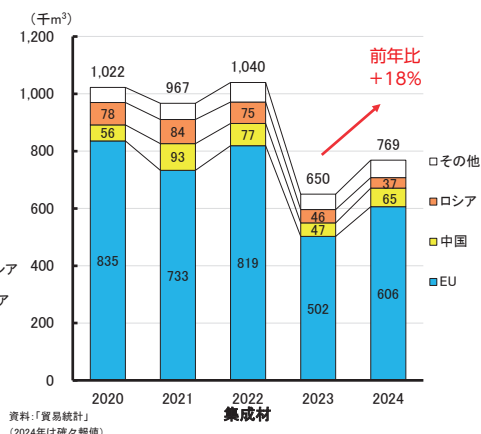
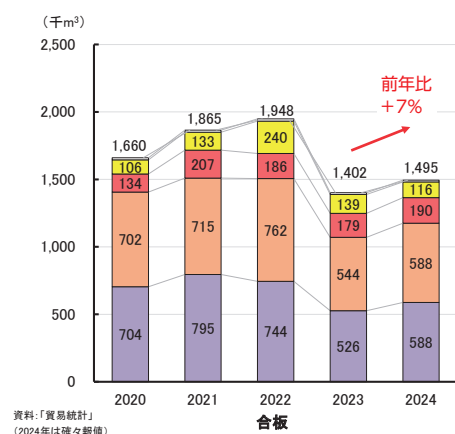
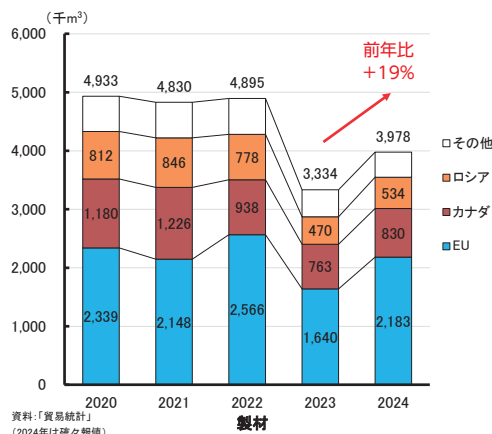
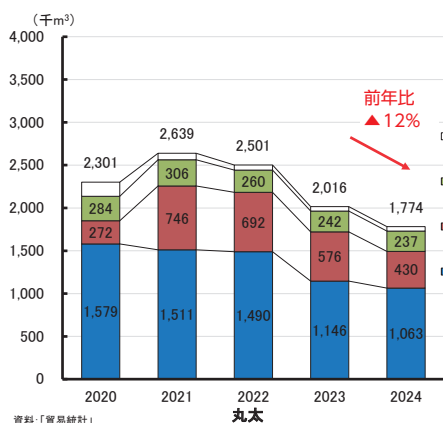


② 2024年の品目別木材輸入実績

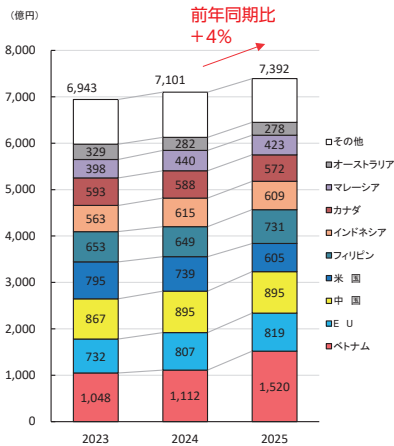
丸太については、2023年8月にベトナム丸太の製材大手が工場火災により減産したことから、輸入量が減少しました。製材については、過剰在庫の調整等により2023年に大幅に減少した反動から、前年比19%増と増加しました。合板については、インドネシアやマレーシアからの輸入量が2023年に減少した反動等により増加しました。集成材については、製材と同様に、過剰在庫の調整等により2023年にEUからの輸入量が大幅に減少した反動から増加しました。木質ペレットについては、F・T・F・P制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働により、国内需要が高まっていることから、特にベトナムからの輸入量が増加しています。

丸太については、2023年8月にベトナム丸太の製材大手が工場火災により減産したことから、輸入量が減少しました。製材については、過剰在庫の調整等により2023年に大幅に減少した反動から、前年比19%増と増加しました。合板については、インドネシアやマレーシアからの輸入量が2023年に減少した反動等により増加しました。集成材については、製材と同様に、過剰在庫の調整等により2023年にEUからの輸入量が大幅に減少した反動から増加しました。木質ペレットについては、F・T・F・P制度を背景とした木質バイオマス発電所の新規稼働により、国内需要が高まっていることから、特にベトナムからの輸入量が増加しています。

2020年～2024年の品目別木材輸入量の推移(丸太、製材、合板、集成材、木質ペレット)



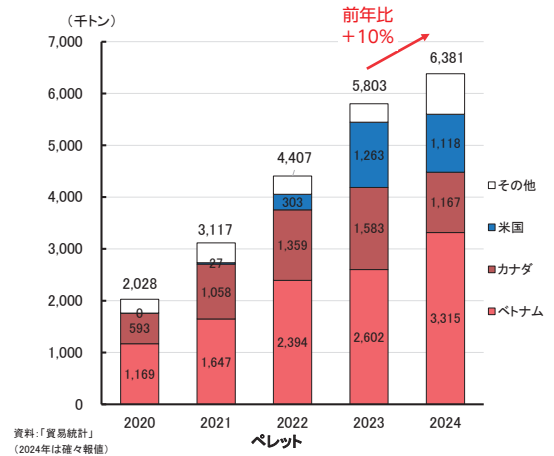
2023年～2025年の 上半期における木材輸入額



資料:「貿易統計」

2025年上半期(1～6月)における木材輸入額は2024年同期比で4%増となっています。国別では2024年上半期と同様に第1位はベトナム、第2位は中国、第3位はE Uとなっています。

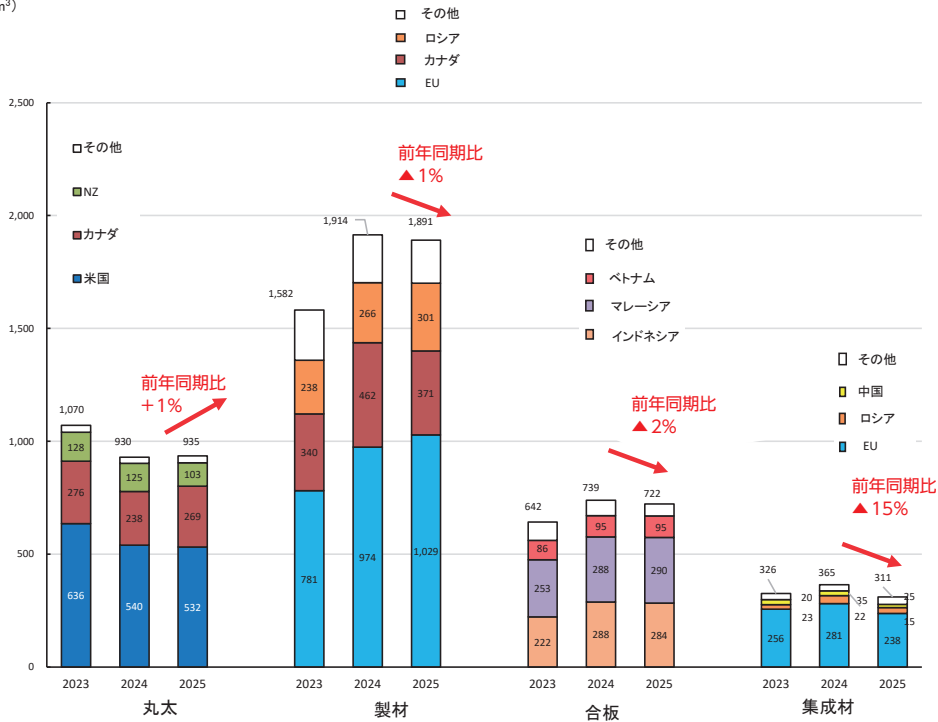
③ 2025年上半期の 木材輸入実績



資料:「貿易統計」
(2024年は確々報値)

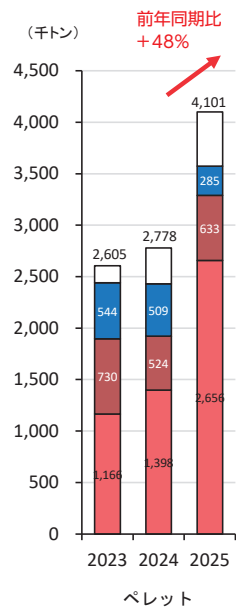
2023年～2025年の上半期における品目別木材輸入量(丸太、製材、合板、集成材、木質ペレット)

(千m³)



資料:「貿易統計」

(千トン)



林野庁では、今後も引き続き、米国関税措置による影響など木材輸入の動向を注視してまいります。

おわりに

木質ペレットについては、最大の輸入先であるベトナムからの輸入量が増加しています。

集成材については、国産材への転換等により輸入量が減少しています。

製材については、全体的には2024年上半期とほぼ同量であるものの、E Uに次ぐ輸入先のカナダからの輸入量は20%減となっています。カナダは米国にとって最大の木材輸入先であり、今後の対米関係がカナダ国内産業に与える影響も注目されます。

丸太と合板については、輸入の全体量も国別の割合も2024年上半期と比べて大きな変化はありません。なお、丸太については、最大の輸入先である米国からの輸入量が、4月(138千m³)、5月(69千m³)、6月(112千m³)と変動が大きくなっています。

製材については、全体的には2024年上半期とほぼ同量であるものの、E Uに次ぐ輸入先のカナダからの輸入量は20%減となっています。カナダは米国にとって最大の木材輸入先であり、今後の対米関係がカナダ国内産業に与える影響も注目されます。

集成材については、国産材への転換等により輸入量が減少しています。

木質ペレットについては、最大の輸入先であるベトナムからの輸入量が増加しています。

④ 2025年上半期の 品目別木材輸入実績